

平成21年12月11日

学振第169委員会 高精度解析技術開発小委員会

1. 構成メンバー：主として169委員会委員若干名で構成されるが、必要に応じ、運営委員会の議を経て外部のメンバーを加えることができる。

小委員長： 中川 敦史（阪大）

産業界小委員：安達宏昭（創晶）、伊中浩治（丸和栄養食品）、川上善之（エーザイ）、
田仲広明（コンフォーカルサイエンス）、

学界小委員：黒木良太（JAEA）、田中勲（北大）、三木邦夫（京大）、渡邊信久（名大）

2. 主な活動内容

高精度構造解析のための各種技術に関する情報収集と情報交換

- 1) 主な話題：タンパク質の選択とコンストラクトの設計と発現、精製・結晶化技術、高精度回折強度データ収集法・データ処理法、精密化、高精度構造の利用
- 2) 主な活動：各種最新技術の紹介と情報交換、新たな技術開発
- 1年目：現在使われている最新技術の収集・紹介、高精度構造の必要性のサーベイ 等
- 2年目以降：新たな技術開発のための要素技術等の情報収集、高精度構造の利用に関する情報収集

3. 活動報告

毎年、研究会にて発表、或いは news letter, に投稿などを行い、成果を報告する。

4. 予算

- 1) 第169委員会（本委員会）経費より年間最大30万円を小委員会運営経費として援助する。
- 2) 小委員会に関する会議でも、本委員会が必要と認める内容の研究会に対しては、本委員会委員の参加を呼び掛けることにより、本委員会が必要経費を負担する。
- 3) 予算請求に当たっては
- ①プログラムの作成（学振にも提出）
 - ②参加者の名簿を含む議事録（学振にも提出）
 - ③会場使用料、お茶代、など業者の関係するものは必ず見積もり請求書を学振に提出すること。
 - ④講演者には旅費の支給可能（職場から会場の距離が50km以上の人のみ）

4. 設立期間

この委員会が承認された日から5年間、但し、運営委員会の承認の下に延長可能である。

第169委員会委員長 坂部知平